

株式会社翠光トップライン

Presents

メールマガジン#13

今後に於ける燃料電池の動向と BCP 対策としての 燃料電池の必要性について

温室効果ガスによる気候変動が問題となっていますが、英国グラスゴーにおいて COP26 が開催され、我が国として 2030 年までの期間を「勝負の 10 年」と位置づけており 1.5 度目標、石炭火力発電の廃止、排出権取引制度の創設など、環境、エネルギー関連で早急な対応を求められています。そのなかで 85% 程度の熱効率を誇る燃料電池の普及は注目を浴びています。また地産地消にて熱以外に電力を取り出せることからグリッドでの電送ロス分もなくなり、大幅な省エネが図れます。今後もますます注目を浴びていくことでしょう。

近年地震や気候変動による異常気象により停電が頻発してきました。一昔前は日本は停電しない国と言われていましたが、最近は発展途上国程ではないにしろ停電が頻発するようになってきました。自家消費形太陽光発電、蓄電池で備える事も重要ですが、ガスバルク貯槽を設置し自立型エネルギーシステムとして燃料電池を導入すると温水や電力を確保できるため BCP 対策として非常に有効になります。

この度、事業者様の BCP 策定（災害時の事業継続）の支援事業の一環として、（一社）エコファーム推進機構は、韓国燃料電池企業の東亜ビュクセルと、大韓貿易投資振興公社(KOTRA)主催により、日韓経済交流発展を目的とした MOU の調印式を行いました。現在日本では、地震や台風などの自然災害の大きな影響を、いつ受けるか分からない状況にあり、仮にその際に、送電網が機能しなくなっても、永続的に電力が供給され、事業が継続的に維持出来る為の備えが必要です。エコファーム推進機構は、その様な緊急事態の備えとして、BCP 対策の強化の為の支援として、今後も情報提供と各種ご提案を続けて参ります。



この件につきまして韓国の記事が出ましたのでリンクをお知らせします。Google 自動翻訳をかけております。

https://n-news-naver-com.translate.goog/article/018/0005093985?_x_tr_sl=ko&_x_tr_tl=ja&_x_tr_hl=ja&_x_tr_pto=nui

いよいよ明日からです！

12月1日ー3日 防災産業展 2021@東京ビッグサイトに出展します。

前回のメールマガジンでお知らせしましたが、明日12月1日から3日、東京ビッグサイト西ホールで開催される防災産業展 2021 に弊社は、エコファーム推進機構の傘下として株式会社翠光トップラインのBCP 対策製品、“充電難民を救う！”をスローガンにした非常用電源 BPS（Back-up Power Station）と“窓から始めるBCP”をスローガンにしたBCPフィルム SEAG フィルムを展示いたします。

防災産業展 2021 のホームページにアクセスして入場登録をしてくださると無料で展示会に入場できます。

<https://biz.nikkan.co.jp/eve/bousai/>

防災産業展 2021 の開催時間は以下の通りです。

12月1日（水）10:00～17:00

12月2日（木）10:00～17:00

12月3日（金）10:00～17:00

ご来場キャンペーン



ブースに来て頂き、名刺を交換して頂けた方々に結露の季節にぴったりな**“結露その時”**をお渡しします窓にスプレーして拭くだけで大幅に結露が抑えられます。

こんなニュース, こんなサイトを見つけました！

2021/11/29 TEAM 防災ジャパン

【普及啓発】防災知識のアップデートをメインテーマとした Web サイトが開設されました

詳細はこちら→[【普及啓発】防災知識のアップデートをメインテーマとした Web サイトが開設されました | TEAM 防災ジャパン \(bosaijapan.jp\)](#)

東京都防災ホームページ

事業継続計画（BCP : Business Continuity Plan）とは

事業継続計画とは、「災害時に重要業務が中断しない」または、「重要業務が中断したとしても目標時間内に再開する」ことで「取引の他社流出」、「シェアの低下」、「企業評価の低下」などへの防止対策です。

詳細はこちら→

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/bousai/1000027/1000296.html#:~:text=%E4%BA%8B%E6%A5%AD%E7%B6%99%E7%B6%9A%E8%A8%88%E7%94%BB%EF%BC%88BCP%EF%BC%9ABusiness,%E3%81%B8%E3%81%AE%E9%98%B2%E6%AD%A2%E5%AF%BE%E7%AD%96%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82>

メールマガジン発行元：

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-11-10 トップライン BLD

株式会社翠光トップライン

Tel:03-5688-3177 Fax:03-5688-3277

URL:<http://www.suikohtl.com/>

E mail: bps@suikohtl.com